



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月28日

上場会社名 株式会社マクアケ 上場取引所 東
 コード番号 4479 URL <http://www.makuake.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 亮太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田村 祐樹 TEL 03-6328-4038
 四半期報告書提出予定日 2020年1月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の業績 (2019年10月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	519	—	102	—	103	—	72	—
2019年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	7.06	6.49
2019年9月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 2019年9月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第1四半期の数値及び2020年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 2020年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2019年12月11日に東京証券取引所マザーズに上場したため、新規上場日から当四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	3,000	1,754	58.5
2019年9月期	1,399	285	20.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 1,754百万円 2019年9月期 285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,187	62.8	478	283.0	476	274.3	330	271.5	29.92

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2020年9月期（予想）の1株当たり当期（四半期）純利益は、2020年1月14日を払込期日とするオーバーアロップメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資分（381,700株）を考慮して算出しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	10,966,000株	2019年9月期	9,986,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	一株	2019年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	10,220,348株	2019年9月期1Q	一株

（注）当社は、第1四半期の業績開示を2020年9月期より行っているため、2019年9月期第1四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は、当第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当社は、「生まれるべきものが生まれ、広がるべきものが広がり、残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものが最初に見つかり、手に入る場所を提供することを目的に、プラットフォーム「Makuake」を運営しております。

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米国の保護主義政策に端を発する貿易摩擦への懸念や中国経済の減速、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向等の先行き不透明感があるものの、雇用・所得環境の改善、個人消費の回復がみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社の経営環境は新製品販売におけるEコマース市場、新サービスにおける予約販売Eコマース市場、クラウドファンディング市場等の複数の市場の影響を受けており、新製品が最初に最も多く売り出されるEコマース市場は高い成長ポテンシャルがあると考えております。

このような状況のもと、プロジェクト実行者において「Makuake」でプロジェクトを掲載することが単なる資金調達目的ではなく、マーケティング(新製品発売前の顧客ニーズ・評価等の調査、ブランディング等)やPR活動への活用に変化している一方、プロジェクトサポーターにおいてはまだ世にない新しいものが最初に見つかる場所として認識され、会員が継続的に増加するとともに、繰り返し「Makuake」のプロジェクトを応援購入することが多く、プロジェクト当たりの決済金額の規模拡大が続いております。

当第1四半期累計期間は継続的なシステム開発によるオペレーションの効率化、プロジェクト審査の効率化が進んだことや日本各地でのブランド周知イベントの開催及びメディア露出等によりブランド認知が広がりプロジェクト実行者によるプロジェクト掲載数が増加した一方、プロジェクトサポーターにおいて毎日楽しい、面白いモノやサービスが生まれるプラットフォームとしての認識が深まり会員数が増加いたしました。プロジェクト掲載数及び会員数が相互にバランスよく伸びたことで応援購入総額が増加いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は519,503千円、営業利益は102,893千円、経常利益は103,471千円、四半期純利益は72,144千円となりました。

なお、当社はクラウドファンディング事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は3,000,519千円となり、前事業年度末と比べ1,601,480千円の増加となりました。

流動資産は1,555,695千円増加し、2,634,441千円となりました。主たる要因は、現金及び預金が1,484,531千円増加したことによるものであります。

固定資産は32,645千円増加し、352,938千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が35,670千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は1,245,625千円となり、前事業年度末に比べ131,856千円の増加となりました。

流動負債は126,643千円増加し、1,225,155千円となりました。主たる要因は、預り金が85,744千円増加したことによるものであります。

固定負債は5,212千円増加し、20,470千円となりました。主たる要因は、勤続インセンティブ引当金が5,212千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は1,754,894千円となり、前事業年度末に比べ1,469,624千円の増加となりました。主たる要因は、新規株式上場に伴う公募増資を実施したことにより資本金及び資本剰余金がそれぞれ698,740千円、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が72,144千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、2019年12月11日公表の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	879,340	2,363,871
売掛金	194,694	259,503
その他	8,280	14,636
貸倒引当金	△3,569	△3,569
流動資産合計	1,078,746	2,634,441
固定資産		
有形固定資産	50,310	48,357
無形固定資産	200,608	236,278
投資その他の資産		
その他	76,910	75,839
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	69,373	68,302
固定資産合計	320,292	352,938
繰延資産	-	13,139
資産合計	1,399,039	3,000,519
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	27,500	20,000
未払法人税等	31,524	36,054
預り金	800,817	886,562
その他	188,669	232,538
流動負債合計	1,098,511	1,225,155
固定負債		
勤続インセンティブ引当金	15,257	20,470
固定負債合計	15,257	20,470
負債合計	1,113,769	1,245,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	132,995	831,735
資本剰余金	132,995	831,735
利益剰余金	19,279	91,423
株主資本合計	285,270	1,754,894
純資産合計	285,270	1,754,894
負債純資産合計	1,399,039	3,000,519

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	519,503
売上原価	101,211
売上総利益	418,292
販売費及び一般管理費	315,399
営業利益	102,893
営業外収益	
講演料等収入	833
その他	205
営業外収益合計	1,039
営業外費用	
支払利息	85
株式交付費	376
営業外費用合計	461
経常利益	103,471
税引前四半期純利益	103,471
法人税、住民税及び事業税	30,819
法人税等調整額	507
法人税等合計	31,327
四半期純利益	72,144

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月11日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2019年12月10日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行980,000株により、資本金が698,740千円、資本剰余金が698,740千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において資本金831,735千円、資本剰余金831,735千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、クラウドファンディング事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(第三者割当増資による新株発行 オーバーアロットメントの売出しに係る発行)

当社は、2019年11月8日及び2019年11月25日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、大和証券株式会社を割当先とする第三者割当増資を決議しており、2020年1月14日に払込が完了いたしました。

- | | | |
|------------------|-------------------------|---|
| (1) 発行する株式の種類及び数 | 普通株式 | 381,700株 |
| (2) 割当価格 | 1株につき | 1,426円 |
| 払込金額 | 1株につき | 1,275円 |
| (3) 発行価額の総額 | | 486,667千円 |
| | この金額は会社法上の払込金額の総額であります。 | |
| (4) 割当価格の総額 | | 544,304千円 |
| (5) 資本組入額の総額 | | 272,152千円 |
| (6) 払込期日 | | 2020年1月14日 |
| (7) 資金の用途 | | ①事業サービス強化のためのシステム開発及び改修、②事業拡大を目的とした人員増強のための費用、③借入金の返済、④広告宣伝費に充当する予定であります。 |